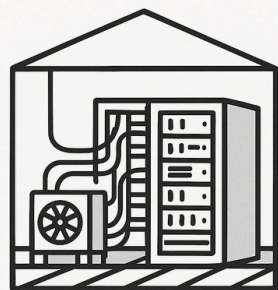




オンプレとクラウドの違い

～インフラで知っておくべき基礎～

そもそもオンプレとクラウドとは？



ON-PREMISES



CLOUD

Genspark

オンプレミス

自社で物理的なサーバーを持ち、運用管理

自社内にシステムを構築・保有し、管理運用するシステム形態

クラウド

インターネット経由でサービスを利用

外部事業者のサーバーを使い、必要な機能をネット経由で利用

オンプレミスの特徴



自由度が高い

システムを自社の要件に合わせてフルカスタマイズ可能



自社で全て管理

運用・保守・セキュリティ対策を自社の管理下で実施



初期投資と維持費が高額

サーバー購入費、設置スペース、電気代、人件費等がかかる



導入・増設に時間がかかる

機器の調達から設置、構築まで長期間必要

クラウドの特徴



必要なときに必要な分だけ利用

ビジネス需要に合わせて柔軟にリソースを調整可能



初期費用ほぼゼロ

サーバー購入や設置工事などの大きな先行投資が不要



すぐに利用開始可能

契約後すぐにシステムの導入・稼働が可能



保守・障害対応はクラウド事業者

運用やセキュリティ管理の負担を軽減

オンプレとクラウドの比較表

項目	🏢 オンプレ	☁️ クラウド
設置場所	自社	クラウド事業者
初期費用	高い↑	安い↓
導入スピード	遅い🕒	早い⚡
拡張性	低い↔️	高い↗️
運用負担	高い🛒	低い🍃

クラウドの3つの種類



IaaS（基盤提供）

サーバー、ストレージ、ネットワークなどのインフラをサービスとして提供

PaaS（開発環境提供）

アプリケーション開発に必要なプラットフォーム（実行環境、開発ツール等）を提供

SaaS（アプリ提供）

完成したアプリケーションをインターネット経由でサービスとして提供

なぜ今クラウド需要が高いのか①



DX推進でスピード重視の開発が求められている

迅速なシステム構築・展開が可能なクラウドはDX推進に最適なインフラ



リモートワーク・多拠点対応が必要

場所を選ばずアクセス可能なクラウドは新しい働き方に対応



グローバルでの事業展開に向く

世界各地からアクセス可能で、グローバルビジネスを支えるインフラに

なぜ今クラウド需要が高いのか②



初期費用が安くリスクが低い

高額な設備投資が不要で、月額料金制のため初期投資リスクを抑制しながらビジネス展開が可能



自動的に最新セキュリティ対応

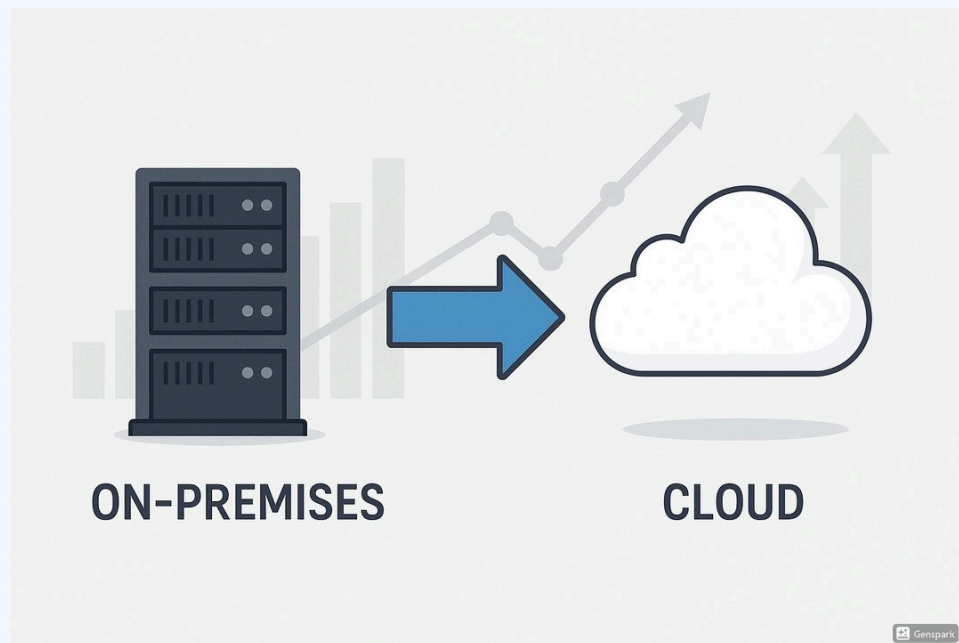
クラウド事業者によるセキュリティアップデートが自動的に行われ、常に最新の保護機能が利用可能



必要なときにリソースを増減できる

需要の変動に応じて柔軟にサーバー容量やスペックを調整可能で、ビジネスの成長や季節変動に迅速対応

オンプレからクラウドへの移行事例



設備更新のタイミング

古いオンプレ設備の更新タイミングでクラウド化が進行中



運用負担の軽減

セキュリティ対策や保守作業の負担軽減を目的とした移行



幅広い分野で採用

銀行、自治体、製造業など様々な業界でクラウド移行が加速

まとめ



オンプレ

「自分の家のサーバー」
自社で保有・管理するシステム



クラウド

「借りて使うサーバー」
必要に応じて利用するサービス

現在のトレンド



クラウド移行プロジェクトが急増中！

コスト削減・運用効率化・リモートワーク対応が主な理由